

心・安全に
続けられ
みユニ
出三地

知ら咲か



2019 DECEMBER

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>
連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

今年も堪能しましょう

アヴェルデ「クリスマス・ジャズライブ」

12月22日(日) 午後1時30分開演

あつという間のこの一年、皆様それぞれの歴史を刻まれたことでしょう。年末行事の一つ「クリスマス」、プロによる本格的なライブを楽しみませんか？

■ 昨年の熱気を本年も

昨年、アヴェルデ自治会が主催開催した「クリスマス・ジャズライブ」には冷たい雨にもかかわらず約90名の方が来場されました。

身近な会場でプロの演奏を聴け、皆さん大満喫された様子でした。

本年も多くの方のご要望もあり、同自治会で「クリスマス・ジャズライブ」を企画されました。会員以外の方は有料となりますが、ワンコイン(500円)で入場いただけます。

■ 関西を代表する奏者の方々

奏者の方々には60年以上の歴史を誇る「アロージャズオーケストラ」のメンバーで本格的なプロとして多方面で活躍されています。

昨年、トロンボーンの大迫明さん、ピアノの石田ヒロキ

さんにより「AS TIME GOES BY」で始まり、

ジャズの定番「A列車で行こう」や「追憶のテーマ」等々、又「黄昏のビギン」など懐かしい曲をジャズアレンジしての演奏がありました。

本年はお二人に加えベシストの宮野知巳さんが加わります。チラシにも記載されていますが、音楽一家で幼少の頃から育んだ力が、曲目ともにもライブに上乘せされるのも楽しみの一つです。

■ 身近で楽しみましょう

開催に必要な費用は少なくはありませんが、今回は楽しみめ交流できる場への思いもあり、会員さんは無料、自治会員以外の方にも参加料ワンコインとなったそうです。

音響設備こそ整っていませんが、歩いていける範囲での本格的な催しを大いに利用しましょう。

阪急逆瀬台アヴェルデ自治会主催

Christmas JAZZ Live

日時: 2019年12月22日(日)

開演: 午後1時30分 開場: 午後1時

場所: 管理棟2階 入場料: 自治会員は無料
(会員以外様200円)

ジャズオーケストラの名門「アロージャズオーケストラ」
そのメンバーで関西を代表する奏者の本格的なライブで
思い出に残る素敵なクリスマスを〜



大迫 明 トロンボーン奏者

「北野タダオとアロージャズオーケストラ」、関西Jazz界の重鎮古谷亮(Sax.Vo.)氏率いる「ネイバーフッドビッグバンド」のメンバーとして活躍。また松本幸四郎主演の「ラ・マンチャの男」ほか多数のミュージカルにも参加。



石田 ヒロキ ピアニスト

11歳より坂田晋彦氏、16歳より北野タダオ氏に師事。様々なコンテストでグランプリを受賞。「アロージャズオーケストラ」のメンバーとして活躍。阿川幸子、北村英治、日野明正ほか多数のトップアーティストと共演。



宮野 友巴 ベーシスト

父親がジャズベーシスト、母親がジャズボーカリストという恵まれた環境に育ち、幼少の頃から音楽に興味をもつ。ジャズベースを村松泰治氏に師事。クラシックベースを林武寛氏に師事。安定感のあるプレイに高い評価。

自治会入会のお申し込みも随時受付中です！お問い合わせは
【阪急逆瀬台アヴェルデ自治会 会長 外山まで TEL 090-9042-7372】

11月10日
地域を美しくする活動レポート

■市民一斉清掃の日

11月10日(日)は「宝塚を美しくする市民運動の日(市民一斉清掃)」が実施されました。

この地域でも白瀬川周辺や各マンションの周りの清掃が実施されました。

■実施内容は

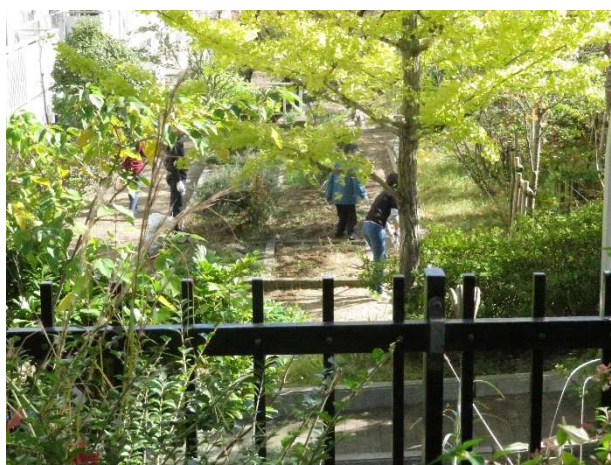
宝塚市の実施要領は次の通りです。

- ① 生活道路、小河川、駅周辺等公共的な場所に散乱する空き缶、空き瓶、紙くず等の清掃及び雑草等の刈り取り

- ② 道路側溝(みぞ)の泥上げ清掃

■当日の内容は

実際の作業としては、写真のように夏秋に伸び枯れてきた雑草類の刈り取りや、側溝に落ちてたまった落ち葉の拾い集めが中心になりました。以下、写真でレポートします。



グリーンハイツ自治会主催

『落語会』開催

十月二十日十三時三十分から落語会が開催されました。

集会室の東窓側の前方に赤色の高座が設けられ、その右側には黒幕の控え場所が設営されていました。また左側には黒板に出演者三名の芸名が表示されて準備万端されていました。



でした。

それでも開演時には三十人を超える集まりになっていたと思います。少ないとは言え相変わらず高い参加率に感心しています。

喋り家のお三方が入場されたところで、自治会長さんの「ごあいさつ」です。

演じ手は、池田の「落語みゆーじあむ」から来られて昨年到现在二回目との紹介でした。

池田市は、「落語のまち」とも言われているようで「落語みゆーじあむ」ではアマチュア落語家の寄席も行われているのだそうです。



いよいよ始まりです。

前座(一番目)は、五月家のり平さんで、紫の和服姿で登壇です。

のり平さん、メガネをかけた青年です。後で聞いたら高校生だと！

お題は『堪忍袋』

罵り合い喧嘩が絶えなかつた夫婦、出入りする先の主人に諭されて男も妻も大きな袋をつくつて、その中に怒りをプチ込めます。

さてどうなりますやらまあ・・・！！

お後がよろしいようです！いちご柄？の大きな堪忍袋を持つての高校生らしい初々しい熱演でした。



二ツ目は、五月家緑さん(女性)で、頭にはリボンをつけて、そして、艶やかな和服姿での登壇です。

お題は『蒟蒻問答』

こんにゃく屋に世話になつて居る男が主人から、村の空き寺の和尚になつてみないかと言われ、喜んで『におわか坊主に成りますます』ことになりす。

訪れた旅の僧侶に「禅問答」をしかけられますが、無言を貫きます！

どうなりますことやら・・・！！

終始笑顔での熱演でした。

ところが、三十分の正座で足が痺れて戻るのに一苦労です！何とか無事に戻れて一安心！



トリは、猪名川亭紫紺さんで、落ち着いた黒色の和服姿で登壇です。

お題は『茶屋迎い』

ノラクラ若旦那が集金に行くと言つて新町のお茶屋に居続けます。

手代や番頭を次々に迎へに行かせるも帰つて参りません。・・・

さてさてどうした者か年期が感じられる貫録の熱演でした。楽しかったです！

最後は三人揃つてごあいさつ！会場からは大きな拍手が一斉に！

来年も是非来演を！とお互い確認をされ『落語会』はお開きとなりました。(記；知ら咲かT)



西山住宅自治会第五回作品展

11月1日〜3日 10時〜16時

場所 西山住宅集会所



西山住宅恒例の『作品展』が開催されました。筆者は最終日の3日午後2時頃に訪問しました。自治会のご婦人方が5名ぐらい接遇されていました。会場の壁面と壁前の長テーブルには沢山の作品が展示されています。会場中央のテーブルには「マジックのお楽しみコーナー」が設けられ、子供さん連れの男性と、ご婦人方5名程が、杉井さんの手解きを聞きながら楽しんでおられました。出展品をご覧になってい

る方も10名くらいおられ、会場は大変盛況でした。一通り作品を見せてもらってから、受付ノートを拝見させてもらったところ、来場者数は3日目で120名くらいでした。その後、杉井自治会長さんにお聞きしたところでは125名とお聞きしました。また昨年の来場者は最終的に160人だったと、お聞きしました。後日、自治会長さんにお聞きしたところ最終結果は131人でした。出品数は多少減っている様には思いますが、毎年の

事なのでこれだけ作品が集まることは本当に素晴らしい事だと感じています。特に、子供さんの作品が年々増えているように思いました。子供さんは3歳の指絵「ゴジラ」から小学生9人からの夏休みの課題として作成した物が沢山出展されていました。小学生は登校グループが昨年まではグリーンハイツと一緒にだったのが今年から西山住宅単独グループになったそうです。人数が増えているのですね！今年の夏は住宅西側空地で「花火大会」を行い大人含めて30人位集まったようです。男性の出展は例年少ないのですが、昨年より増えているように感じました。

何と言っても女性です。今年も多くの方が多彩な作品を出展されておりました。毎年だから作品作りが大変ですね！と尋ねたところ、今までに作った物の中から「去年はこれを出したから、今年はこの作品を！」と選んで出展されているのだとお聞きしました。それにしては多種多様な方が多いですね！感心します。今年も、絵画、写真、ペン画、つまみ絵、アートフラワ、フランス刺繍、欧風刺繍、紅型染など本当に多彩でした。来年の「作品展」も今から楽しみです！（記事：知ら咲かHB）



*5 ページ上段にも展示写真を掲載しています。



今回で10回目になる「逆瀬川絵画サークル」の作品展、編集部から取材に行けなかったため当日の写真をお借りして掲載させていただきます。
 毎月、第一日曜日の午前中に水彩絵具、アクリル絵具、油絵具等、それぞれの方の選択により絵画に取り組まれた作品です。写真だけでも、いずれもが力作であることを感じられます。先生の超大型の絵には目を引かれました。

**第10回
逆瀬川絵画サークル作品展**
 10月26日・27日 逆瀬台マンスション



逆瀬川マンション
「鍋会」10月27日(土)



2019年(令和1年)からスタートして、毎月最後の日曜日18時より鍋会をしてきました。今回で10回目です。家の冷蔵庫に残っているものを持ち寄りおしゃべりをしながら、ゆつくりと卓をかこみます。飲み物は、持参してきます。仲間と云うか、家族のように遠慮なく楽しんでいきます。毎回、メニューは、少し変えています。例えば、鍋の中身が、変わる事もあります。持ちこみの内容によって当然変わることで楽しんでいきます。



暑い時は鍋ではなく、例えばソーメンとか、焼きそば、お好み焼き、天ぷら、等々です。有るものを持ちこむ事で、当然無料です。いま、お一人で、食事をされている方もいらつしやる中、月に一回ですが、ご一緒に、卓を囲んで見ませんか？いつ、何が起こってもおかしくない現在です。身近な方々と親睦を深めることが、出来ます。気楽に参加してくださいね。

防災寄稿記事
「ちよつと、お耳を拝借」

私も、最近教わったのですが、大きな災害に襲われた時、電気も、水も使えなくなるなります。その時一番困るのが水です。他県の、災害のニュースで水の必要が痛烈に分かりました。私達も、阪神大震災を経験していますが、その比ではない大震災が襲って来ます。災害が、大きければ大きい程、自分たちで対処する事が当面、必要となつてきます。すぐには、助けてはくれませんが。公助は当て

では出来ない。まず、自分の命を守ります。そして家族を助けて何も無ければ、すぐ近所さんに声をかけて下さい。その後、対策本部に集まり早急に対策を練ります。これが一連の行動です。災害が起きる(いつ起きるか分からない)前に準備を(備えあれば憂いなし)する中で一番に考える事が水です。私はペットボトルの水を60本以上備えています。

そして、トイレの水は流せません(特にマンションは)電気が止まっているので水は勢よく流れません。自然と下の階に汚水が溜まり逆流して上上がつてきます。市販のトイレの凝固剤を買って各自で、備えて下さい。少しずつ備えて安心して行きましよう。家族の人数分の凝固剤が必要で。固まれば、ビニール袋に入れて、ペランダで保管して下さい。(水道から水が出るまで)

執筆〇

11月11日 第二地区防災会
避難訓練に多数参加されました

大規模な災害が特定の場所に限定されること無く常時、発生するようになってきました。何処にいても、かつての安全神話は通用しなくなつてきました。私たちマンション居住者にとつては自宅待機という選択を最初にするのでしようが、それ以上のことも想定しておくことも必要でしょう。

今回のゴルフ場への避難も選択肢の中のパターンであつてもいいのでしよう。訓練当日は途中から雨に

千秋地区防炎会長、宝塚市危機管理監、西消防署長、宝塚ゴルフ倶楽部部長、逆瀬川地域包括支援センター所長、社協地域担当者の皆様。(7ページ下段へ)

降られるなど災害遭遇時の条件に近い感じになりました。集合後、関係各氏から挨拶がありました。



10 月 29 日 『朗読会』開催
主催 パーク・マンション自治会
共催 サロンひまわり

今年も好評の『朗読会』を開催しました。

今回は、山本周五郎作の時代物『秋の駕籠（カゴ）』の朗読です。

朗読者はパークマンション在住の徳永さんです。

徳永さんいわく、『長屋住まいの六助と中次が主人公で、いきつけの居酒屋「魚金」での出来事、やりとりの中

に、今にも通じる人情、友情がいきいきと描かれている作品です！一回完結のテレビドラマを見る感覚で、お楽しみいただけると思います。

by tokuz (トク) と述べておられます。

徳さん、朗読に先立ち時代物やからと、縦縞の絆纏を羽

織つての登場です！

主人公の六助と仲次は二十代の若者で同じ長屋住まい。食事は殆ど『魚金』で。仕事は庶民相手の「籠かき」をしています。大の仲良しですが喧嘩も絶えません。

中次は中肉中背苦みばしい良い男、無口で怒りっぽい若者です。

六助はおっとり型で、長髪、胸毛はボウボウ、スネ毛も濃い一見四十位に見えます。

魚金の娘『お梅』は「中次」に密かに好意を抱いている十八歳の面長の美人です。

物語の殆どは六助と仲次とお福との関わり合いで、徳さん前述の通り進んでいき

但し、第四章の後半から最終章にかけては話が大きく変わっていきます。

行きつけの「魚金」で『五十（いそ）』という商い風の男に出会います。

そして籠で箱根まで運んでほしいと頼まれます。運び賃は五両払うからと！

話が旨過ぎると警戒し受けるか断るか躊躇します。が、最終的に引き受けることに！

一日目は神奈川宿泊。そこで大判四百両と小判百五十両が入っていると言う胴巻きを何故か預って欲しいと頼まれ預かります！二日目は藤沢泊！三日目は平塚から大磯で泊！そして四日目の道中、二人の役人が追掛けて

来て「その籠止まれ」と呼び止められます？籠に乗せてきた「五十（いそ）」

に向かつて「このペテン野郎、神妙にしろ」と「五十（いそ）」は大磯の方に引張られて行ったのです。

六助と中次は呆然として・・・帰ろうとして籠を担いだ途端ズシリと重い。

第一章から五章まで一気に六十分間の熱弁！立ったり座ったり、お疲れ様でした。

筆者は子供の頃、東映映画の時代劇が好きでよく見たものです。中次は中村錦之介！

六助は千秋実！お梅は大川恵子！なんて勝手に置き換えながら楽しくお聞きしました。朗読会後は茶話会を

楽しめました。初めて参加していたいただいた方もあり、新たな親交を深める機会となり大変有意義でした。

(記 自治会 H)



避難訓練集合場所で・・・



白瀬の自然

体操時間に青鷺が羽休め

ゆずり葉緑地公園のラジオ体操は朝 6 時半から 40 分までの 10 分間です。

11 月 5 日(月)の朝、体操の顔をモニュメントに目を向けると鳥の姿が見えました。

カラスや鳩が留まることはそう珍しくないのですが、それよりも体長が大きいようです。

しっかり見ると、「アオサギ」の姿です。「アオサギ」はこの「知ら咲か」でも 2015 年 2 月 1 日号で掲載しています。

その時は、白瀬川の川床で歩いていたものです。

その時も書きましたが、首は鶴のように長いのですが、写真のように縮めていることが多く飛ぶ時も S 字型に縮めて飛ぶそうです。「蒼鷺」と表記されます。

しかし、実際の色は「青」というより「灰色」に近く、成鳥は目の上から後頭部にかけて帯状の冠羽があります。

今回はラジオ体操の最後の頃に西高方面に大きな羽を広げて飛び立っていきました。

毎日、いろいろなことに遭遇できる朝の時間、体操に参加して得をしている気分になります。皆さんも参加してみませんか？



【編集後記】

今月も前号に続き、コンサトの予告記事をトップに掲載しました。このところ、各マンションで本格的なライブ企画が盛り込まれています。それぞれ担当されている方には、お苦勞があると思われています。普通、ちゃんとした設備や音響の整った引き受けてい提で悪条件承知で見つけるとは大変だったことでしょうか。ライブを楽しみたいと思います。

今年もあつという間の一年でした。「知ら咲か」ではできなかった幅広く多くの方からの情報を集めてお伝えするよう努めてきました。ただ、まだまだ集められていない情報があったり、紙面の都合で割愛しなければならぬこともありました。寄せられた情報が紙面構成で貴重な素材となり、軽に編集担当までお寄せ下さい。お待ちしております。

本年、取材にご協力いただいた皆様、原稿をお寄せいただいた方々、製本や配布に携わって下さった方々、御見や申上げます。皆様の厚い御礼を申し上げます。支援のほど、お願ひ申上げます。

(S)